

とおかまち



40年ぶりのSLに歓喜のにぎわい

煙を出し、汽笛の音を響かせながら里山と街中を疾走したSL。沿線や各駅は、笑顔で手を振る人、カメラでその勇姿をおさめようとする人であふれました。

主な内容

特集

●夢を乗せて「SL信濃川ロマン」号 2-3

ピックアップニュース

●市長への便り紹介／人事行政事情 4-8

●里山センター活動紹介／にぎわいなう 9-10

お知らせ・ガイド 11-17

連載コーナー

●きらめき青春／つながるひろがる ほか 18-19

●はたログスポット／イクメン・カジダン ほか 20-21

タウンピックアップ 22-23

熱中夢中 24



十日町駅

十日町駅には多くの方が詰めかけました



魚沼中条駅

縄文ファッションでSLを歓迎しました



下条駅

下条駅では新保広大時節が披露されました



SLがやってきました！



問合せ：観光交流課観光企画係 ☎757-3100

11月10日(土)・11日(日)、JR飯山線でSLが40年ぶりに運行されました。SL運行は、JR東日本の協力により地域振興の一環として実現されたもの。十日町市では長岡市、小千谷市とJR東日本でSL運行連絡会を組織し、昨年春から準備を進めてきました。

ついに来た、 待望のSL

運行されたSLは、SLを活用した活性化事業に取り組んでいる第三セクターの真岡鉄道(栃木県真岡市)所有の「C11(昭和21年製造)」。昭和26〜30年ごろに製造された旧型の客車3両を牽引してきました。満席となった車両には約240人が乗車。長岡駅を出発し、約2時間30分かけて十日町駅に到着しました。踏切など沿線には多くのカメラマンと市民が駆けつけ、軽快な汽笛を鳴らすSLに

笑顔で手を振っていました。午前11時18分に十日町駅にSLが入ってくると、十日町大太鼓の演奏でお出迎え。泉田県知事と1日駅長の関口市長がくす玉を割ってSLの到着を歓迎しました。そして午後2時41分には長岡に向けてSLが出発。駅では地酒が振る舞われ、テープカットでSLを見送りました。SLは10日と11日の2日間に渡り1往復ずつ運行。飯山線で40年ぶりのSL運行とあって、沿線や駅には2日間で9,000人の人出でにぎわいました。

～懐古・感動・迫力～ それぞれの飯山線。SLでにぎわった2日間



1日駅長を務めた関口市長

関係者の皆様の尽力により実現しました。これを機にますます十日町の魅力を磨き、大勢の人からお越しいただけるようなまちづくりをしていきます。そして、開業以来恩恵をいただいている飯山線をこれからも大切にしていきたいと思います。

SLの運行に合わせて、十日町駅東口と駅通りでは、ミニコンサートや屋台村など多くの催しが開催されました。また、下条駅と魚沼中条駅でもSLの到着に合わせて、地元住民らによるにぎわい事業でSLを出迎えました。



十日町駅前では多くの方がSLグッズを買い求めていました



ロンドン五輪金メダリストの小原日登美選手と木名瀬コーチも来場しました



歩行者天国となった駅通りで行われたミニSL運行

会場を訪れた皆さんの声



金子 ヨネさん (十日町栄町・80歳)

SLの煙を見ていると、懐かしさがこみ上げてきます。子どもたちにも見せてあげたかった。またこのようなイベントをしてほしいです。



瀧澤 昂太郎さん (埼玉県戸田市・10歳)

走るSLが見たくて、おばあちゃんがいる十日町に来ました。SLは迫力があり、汽笛の音がすこくかっこ良かったです。



大島 初栄さん (太子堂・65歳)

結婚した頃はまだ運行してなくて、40年ぶりの姿がとても懐かしかったです。若いときは慰安旅行などでよく利用したものです。



待ちに待ったSLの通過。SLの通過に合わせて、駅のホームや沿線から手を振ったり、写真を撮ったりする皆さん

市長へあなたの声が届きます 市長への便りをお寄せください

市長への便りは市ホームページにも内容を抜粋して掲載しています。

問合せ：企画政策課秘書広報係 ☎757-3111

市長への便り
※市長とは関係のない内容や個人・団体を
誹謗、中傷するような内容は固くお断り
します

ピックアップニュース
市長 関口 芳史 行
(市長への便り)



▼結婚を望む男女に、行政側で出会うの場を提供してはどうか。
現在、市でも結婚相談員を配置し、当事者とそのご家族からの情報や、相談員同士の情報交換により、独身男女が出会うきっかけづくりに努めています。相手に求めるもの、個人の考え方も多様化していることもあり、現状では、思うような成果に至っていませんが、相談員との連携を深め、引き続き息の長い、地道な活動を重ねていきます。

▼結婚を望む男女に、行政側で出会うの場を提供してはどうか。
現在、市でも結婚相談員を配置し、当事者とそのご家族からの情報や、相談員同士の情報交換により、独身男女が出会うきっかけづくりに努めています。相手に求めるもの、個人の考え方も多様化していることもあり、現状では、思うような成果に至っていませんが、相談員との連携を深め、引き続き息の長い、地道な活動を重ねていきます。

これにより、車椅子をご利用の方は、車からエレベーターまでスムーズに移動でき、支障なく市役所本庁舎まで行くことができるようになります。
※現在は、総合案内窓口をインターホンとスロープが見える位置に移動し、お困りの方が来庁された場合は、すぐに対応できるように改善しました

▼十日町市に転入してきた。地域活性化にはいろんな人材が交流したら面白いと思う。活躍の場はないものか。
縁あって十日町市にお住まいになられる方々には、地域経済にとどまらず、あらゆる分野で新しい風を吹き込んでいただきたいと考えています。そうすることで当市のさらなる発展の可能性が期待できるからです。

市内には、地域活性化のために自分の経験を生かしたい、活躍できる場がほしい、あんなことやこんなことをやってみたいなどと考えている方々が大勢いらっしゃいます。幸い、当市には、協働のまちづくりを進めていく中で、このような方々が情報交換し合える場となる市民発意の「市民活動ネット

報などでお知らせします。

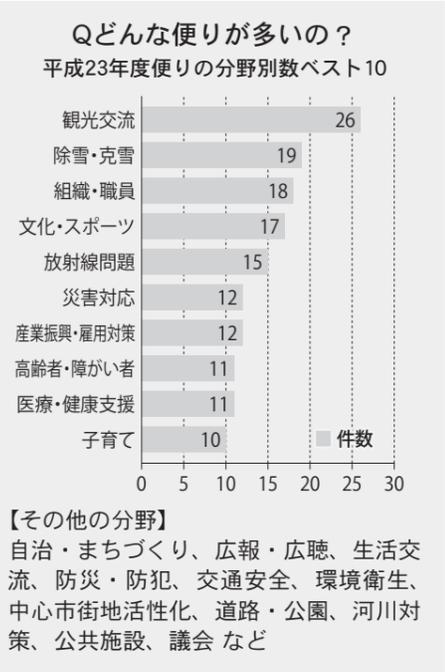
また、市職員からの提案により、携帯電話からご登録いただく形で、独身男女の出会いの場のイベント開催情報をお伝えできる態勢を整備しました(市報・平成24年5月25日号7ページ参照)。

独身男女の出会いの場を設けるには、時期・内容・会場などが大きな課題です。参加者が打ち解け合い、価値観の違いはあってもお互いの良さを十分に理解できるような雰囲気づくりに向け、より一層工夫していきます。

一方で、参加者の中には、話すことに苦手意識をお持ちの方も多く見受けられます。出会う場を準備するだけでなく、話し方なども含め、さまざまな事前研修の必要性も感じています。

結婚という個人の問題に、行政

トワークひとサポ」が開設されています。このほか、中心市街地の活性化に取り組み「にぎわいプロジェクト」などもあり、広く交流が行われています。このような場で、ぜひ今までの経験や能力を活かした情報交換や交流、仲間づくりを進めていただき、地域の活性化、十日町市の活性化にご協力ください。



▼十日町市の社会経済情勢をしっかりと認識し、身の丈に合った行政運営を。
市税収入の低迷など、今後も厳しい財政状況が続くことが予想されます。

市としても限られた財源の効率的・効果的な活用が不可欠であることから、毎年の予算編成に加えて、今後4年から5年内の税収の推移や行政需要(必要経費)などを見込み、それを基に中長期的な収入支出の計画を立てて、市政運営にあたっています。

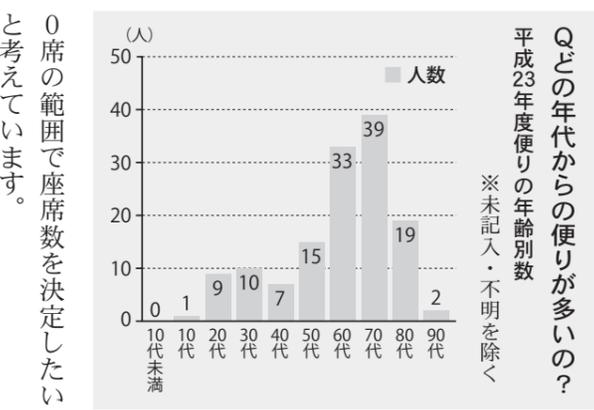
が介入することに対し賛否があることも事実ですが、市では結婚促進事業を、少子高齢化への有効な対策と位置付け、今後も推進していきます。

▼最低でも1,000席以上の市民文化ホールを作ってほしい。

(仮称)十日町市市民文化ホールの座席数については、本年3月23日に、その建設検討委員会から、「現在の市民会館の利用実績や利用形態を重視すれば600席程度が適当であり、興業的な公演などの開催を重視すれば700〜800席程度が適当と考えられるもの、その選択にあたっては、建設費や維持管理費なども含めた、さらに細かい専門的・総合的な判断が必要であることから、600〜800席が望ましい」との答申をいただいています。検討委員会でも「1,000席はほしい」という意見が出されたものの、検討を重ねる中で出された答申ですので、答申を尊重し、600〜800

この計画は、経済情勢の変化などを捉えて収入を厳格に見込む一方、年々必要となる社会福祉費や安全安心のための学校耐震化など、先々の行政需要を見据えたいうえで、収入と支出を的確に均衡させることを目的に作成するもので、所要の見直しを毎年加えながら精度の向上を図っています。

「収入を厳格に見込んだ中で支出を抑える」という考え方のもと、今後も不要な経費削減や業務の効率化、税収入などの一層の財源確保や保有する基金などの的確な資金運用により、健全で節度を保持した財務体質を形成しながら、市民サービスの向上と市勢の進展に努めていきます。



0席の範囲で座席数を決定したいと考えています。

▼市役所本庁舎正面玄関のインターホンを押ししても返答がなく、困っていた人を見かけた。また、スロープが急で電動車椅子でも登れない。改善してほしい。
このたびは至らぬ接客でご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。

ご指摘のスロープは、本年度の本庁舎改修に合わせて改善する予定です。また、平成25年度には、市役所隣接の保健センターにエレベーターを設置するとともに、エレベーター入口に隣接して車椅子用の駐車場を整備する予定です。

便りを出す際のお願い

「市長への便り」としていただいた手紙は、市長が読み、担当部署に確認・指示しながら返事を書きます。皆さんの思いにきちんと答えるため、便りを出す際には次のことに注意してください。

- ①市の発展のためのご意見・ご提案をお寄せください。
：誹謗・中傷の内容に対しては回答できません。また、事務内容などの単純な問い合わせは、直接担当課まで連絡してください。
- ②住所・氏名・連絡先・年齢を必ず記入してください。
：記入がない場合は、お返事できません。

便りは、年に3回市報に折り込むほか、本庁舎・分庁舎・各支所・各公民館に配置してあります。
また、電子申請でも受け付けています。



4. 職員の分限及び懲戒処分の状況

(1)分限処分の状況

分限処分とは、法律に定められた事由に該当した場合に、職員の意に反してその身分に不利益な変動をもたらす処分のことをいい、地方公務員法第28条に規定されています。

分限処分には、降任・免職・休職・降給の4種類があります。

分限処分者数

降任	免職	休職	降給	合計
0人	0人	19人	0人	19人

※人数は延べ人数です

(2)懲戒処分の状況

懲戒処分とは、任命権者が職員の一定の義務違反に対して、その責任を追及して行う行政上の不利益処分のことをいい、地方公務員法第29条に規定されています。

懲戒処分には、免職・停職・減給・戒告の4種類があります。

懲戒処分者数

免職	停職	減給	戒告	合計
0人	0人	1人	0人	1人

5. 職員の研修及び勤務成績の評定の状況

(1)職員の研修の状況

十日町市では公務の基礎知識から高度な行政運営までの能力を養うため、新潟県市町村総合事務組合などが行う研修を職員に受講させています。平成23年度は延べ452人の職員が研修に参加しました。

(2)勤務成績の評定の状況

十日町市では職員の人材育成及び業務効率の向上を目的として、定期的（年2回、1月と7月）に勤務成績の評価を行っています。

6. 職員の福祉及び利益の保護の状況

(1)厚生計画の状況

区分	事業名	事業内容
厚生制度	定期健康診断	定期健康診断及び事後指導など
	人間ドック	人間ドック、脳ドック
	メンタルヘルス研修会	メンタルヘルス対策の研修会
共済制度	短期給付	保険給付（医療保険）、休業給付など
	長期給付	退職共済年金、障害共済年金、遺族共済年金など
	福祉事業	貸付事業、保健事業、宿泊施設運営など

(2)公務災害などの状況

認定請求の状況	
公務災害	通勤災害
4件	0件

人事行政事情のお知らせ

十日町地域広域事務組合

十日町地域広域事務組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、平成23年度の人事行政の運営などの状況について公表します。なお、公表項目の職員給与に関しては平成23年12月25日号の市報に掲載しました。平成24年度分については平成24年12月25日号の市報に掲載する予定です。



1. 任免の状況

平成23年度（平成23年4月1日～24年3月31日）の状況は、全体で退職者6人、採用者3人となっています。

①退職者の状況

区分	人数
定年退職	2人
勸奨退職	1人
普通退職	0人
その他	3人
合計	6人

②採用者の状況

区分	人数
消防士上級	1人
消防士初級	1人
その他	1人
合計	3人

人事行政事情のお知らせ

十日町市

十日町市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、平成23年度の人事行政の運営などの状況について公表します。なお、公表項目の職員給与に関しては、平成23年度分については平成23年12月25日号の市報に掲載しました。平成24年度分については平成24年12月25日号の市報に掲載する予定です。

1. 任免の状況

平成23年度（平成23年4月1日～24年3月31日）の状況は、全体で退職者44人、採用者4人となっています。

①退職者の状況

区分	人数
定年退職	12人
勸奨退職	23人
普通退職	1人
その他	8人
合計	44人

②採用者の状況

区分	人数
上級	1人
中級	1人
初級	0人
教育職員	0人
その他	2人
合計	4人

2. 職員数に関する状況

平成23年6月に第2次定員適正化計画を策定し、平成23年度から28年度までの5年間で職員数を101人削除し、500人にする目標を定めました。

なお、削除は、その効果を早期に得るために、期間前半に重点的に取り組むこととします。

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	計
職員数	601人	566人	527人	526人	500人	500人	
増減		△35	△39	△1	△26	△0	△101

3. 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1)勤務時間の状況

全職員について、労働基準法の限度内である1日7時間45分、1週間38時間45分となっています。

1週間の正規の勤務時間	1日の正規の勤務時間			
	開始時間	終了時間	休憩時間	
38時間45分	7時間45分	午前8時30分	午後5時15分	正午～午後1時

※一部職場によっては時間差勤務を行っています

(2)年次有給休暇の取得状況

（平成23年1月1日～12月31日）
年次有給休暇は、1年ごとに20日付与され、20日を超えない範囲内の残日数は、翌年に繰り越すことができます。

総取得日数	全対象職員数	平均取得日数
3,974日	521人	7.6日

※対象＝市長部局に在職する一般職員

(4)介護休暇の取得状況

介護休暇は、職員の家族を介護するため勤務しないことが相当な場合、条例の定めるところにより6か月以内の期間で与えられる休暇です。（無給）

取得職員数	0人

(3)特別休暇の導入状況

特別休暇は、結婚、出産、お悔やみ、そのほか特別な事情により勤務しないことが相当な場合、条例の定めるところにより与えられる休暇です。（有給）

(5)育児休業の取得状況

育児休業は、法律及び条例の定めるところにより、職員が3歳に満たない子を養育する必要がある場合において休業できる制度です。（無給）

取得職員数	11人

2. 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1)勤務時間の状況

全職員について、労働基準法の限度内である1日7時間45分、1週間38時間45分となっています。

1週間の正規の勤務時間	1日の正規の勤務時間			
	開始時間	終了時間	休憩時間	
38時間45分	7時間45分	午前8時30分	午後5時15分	正午～午後1時

※消防職の交替制勤務職員は1当務あたり15時間30分であり、3交替制でローテーション勤務となっています

(2)年次有給休暇の取得状況

(平成23年1月1日～12月31日)
年次有給休暇は、1年ごとに20日付与され、20日を超えない範囲内の残日数は、翌年に繰り越すことができます。

総取得日数	全対象職員数	平均取得日数
1,007日	120人	8.3日

※9か月以上在職した職員を集計

(3)特別休暇などの導入状況

特別休暇は、結婚、出産、お悔やみ、そのほか特別な事情により勤務しないことが相当な場合、条例の定めるところにより与えられる休暇です。(有給)

3. 職員の分限及び懲戒処分の状況

(1)分限処分の状況

分限処分とは、法律に定められた事由に該当した場合に、職員の意に反してその身分に不利益な変動をもたらす処分のことをいい、地方公務員法第28条に規定されています。

分限処分には、降任・免職・休職・降給の4種類があります。

分限処分者数

降任	免職	休職	降給	合計
0人	0人	0人	0人	0人

(4)介護休暇の取得状況

介護休暇は、職員の家族を介護するため勤務しないことが相当な場合、条例の定めるところにより6か月以内の期間で与えられる休暇です。(無給)

取得職員数	0人
-------	----

(5)育児休業などの取得状況

育児休業は、法律及び条例の定めるところにより、職員が3歳に満たない子を養育する必要がある場合において休業できる制度です。(無給)

取得職員数	1人
-------	----

(2)懲戒処分の状況

懲戒処分とは、任命権者が職員の一定の義務違反に対して、その責任を追及して行う行政上の不利益処分のことをいい、地方公務員法第29条に規定されています。

懲戒処分には、免職・停職・減給・戒告の4種類があります。

懲戒処分者数

免職	停職	減給	戒告	合計
0人	0人	0人	0人	0人

4. 職員の研修及び勤務成績の評定の状況

(1)職員の研修の状況

十日町地域広域事務組合では消防救急技術を養うため、新潟県消防学校などが行っている研修を職員に受講させています。平成23年度は23人の職員が各種研修に参加しました。

(2)勤務成績の評定の状況

十日町地域広域事務組合では職員の人材育成及び業務効率を増進させることを目的として、定期的(年2回、1月と7月)に勤務成績の評価を行っています。

5. 職員の福祉及び利益の保護の状況

(1)厚生計画の状況

区分	事業名	事業内容
厚生制度	定期健康診断	定期健康診断及び事後指導など
	人間ドック	人間ドック、脳ドック
	B型肝炎検査、予防接種	消防職員を対象とする検査
	特定業務従事者検診	特定業務従事の消防職員を対象とする検診
共済制度	短期給付	保険給付(医療保険)、休業給付など
	長期給付	退職共済年金、障害共済年金、遺族共済年金など
	福祉事業	貸付事業、保健事業、宿泊施設運営など

(2)公務災害などの状況

認定請求の状況	
公務災害	通勤災害
4件	0件

(財山の暮らし)再生機構十日町市里山センター活動紹介⑩

高齢化集落と大地の芸術祭 (中手集落の取り組み)

■問合せ：十日町市里山センター ☎595-6670

十日町市里山センターは過疎・高齢化集落の支援を中心に活動しているほか、集落コミュニティの発展や農業の活性化なども支援しています。今回は、集落活性化に取り組む中手集落の地域資源を生かした取り組みを紹介します。

地域資源を生かして大地の芸術祭を活性化につなげたい

吉田地区中手集落は14世帯18人が暮らす高齢化集落です。集落住民は、「このままでは集落が消滅してしまう」との危機感を持っていることから、里山センターや地域おこし協力隊員で、元気でむら

づくりをしている集落の視察・勉強会や、むらづくりワークショップを開催してきました。その成果として、「自分たちの出来ることから何かをやってみよう」ということになり、昨年7月、集会所前の清水が出ている水場を、草刈りや水がめを設置し、水質検査証の掲示などを整備しました。

そして今年5月、大地の芸術祭の作家水内貴英さんから、集会所前に作品の制作・設置の話を持ちかけられ、集落で協議した結果、芸術祭に取り組むことになりました。集落では来訪客の休憩所として集会所を提供することになりましたが、トイレが旧式で来訪客への提供が難しかったため、里山センターや地域おこし協力隊員と相談し、改良を行うことになりました。そして芸術祭の開幕直前、吉田地



集落内を移動する作品「妻有間曳山車」

来訪客からの温かい声が集落の自信につながる

区振興会の支援も得て、快適な簡易水洗トイレが完成しました。いよいよ芸術祭の開幕と同時に連日の猛暑です。多くの来訪客は中手集落の作品を鑑賞すると、作品の脇に出ている冷たい清水で乾いた喉を潤し、集落の皆さんが清水で冷やした新鮮なキュウリやトマトを集会所前のベンチで味わっていました。

来訪客からは、「名ヶ山から歩いて30分、ちょうど良い所に休憩所がありました。冷たい水、トマト、キュウリで生き返りました」「久しぶりに本当のキュウリ、トマトの味がしました。水もおいしくてサイコー!」「こういう心遣



集落総出の作品歓迎コンサート

**冬季博物館企画展
東洋の古銭展(日・中・韓)**

実物で東洋の貨幣文化の歴史を紀元前から振り返ります。

日 12月12日(水)まで
会・岡博物館 (☎757-531)

問 生涯学習課 (☎757-8918)

会 本町分庁舎

「狩谷昌孝展」

日 12月9日(日)〜2月8日(金)

「桑原キヨ子押し花展」

日 12月20日(木)まで午前8時30分〜午後9時

「催し・講座」

催し・講座



催し・講座

「第10回」子ども里山学会

里山の豊かな自然や文化について、市内の小中学生が、総合学習で学んだことや調査の成果などを発表します。

日 12月3日(月)午後1時30分〜4時15分

会 松之山自然休養村センター

無料

問 森の学校キヨロロ (☎595-8311)

千手温泉千年の湯 魅力づくりワークショップ

新しい千年の湯の魅力づくりを考えます。

日 12月3日(月)午後7時30分〜9時

会 千手中央コミュニティセンター

内 新しい足湯スペースづくり、千年の湯とにぎわい空間の魅力づくり

問 榎まちづくり川西 (☎761-1515)

十日町商工会議所商業部会 年末大感謝祭

12月4日(火)〜24日(月)の売出し期間中、加盟店で買い物

催し・講座

「しめ縄作り教室」

をするともらえる補助券3,000円分で、1回抽選ができます。

● 抽選日時 12月22日(土) 日(火)午前10時〜午後7時 (25日は6時まで)

● 抽選会場 本町分庁舎

問 十日町商工会議所 (☎757-5111)

「しめ縄作り教室」

日 12月8日(土)午後1時30分〜3時30分

会 吉田公民館

対 小学生以上の市民※小学3年生以下は保護者同伴

無料

持 はさみ※自分のわらを使いたい人は持参

申・問 12月4日(火)までに吉田公民館 (☎752-2874)

「にいがた連携公開講座 地名が語る郷土の歴史・その調べ方」②

地形と地名の関わりから先祖が伝える減災へのメッセージを考えます。内容は9月1日に開催した講演会と連続しています。

催し・講座

「手作りショップ「ほっこり」」

年に一度のクリスマスフェア。かわいいクリスマスプレゼントを用意しています。

日 12月9日(日)午前10時〜午後4時

会 榎カネタケ建設内(小黒沢)

問 宮沢 (☎758-3332)

「ハンドメイド雑貨市」

日 12月8日(土)・9日(日)午前10時〜午後4時

会 駅西ドミノ式モデルハウス

問 馬場 (☎757-8320)

「情報発信グループ」

グループリーダーミジヨットの西野です。この秋は、にぎわいプロジェクトが企画した数々のイベントに多くの皆さんから足を運んでいただきました。10月27日のハロウィンパレードには約100人が参加。かわいいハロウィンの衣装や本格的なアニメのコスプレで商店街を歩く大行列はまさに圧巻でした。来年以降は市全体を巻き込んだイベントになればいいと、そんな可能性を感じました。

12月は「クリスマスイベント」を行います。十日町高校と総合高校の生徒たちが商店街各店の店頭を飾りつけたり、作品展示やパフォーマンスの発表をしたりと、盛りだくさん。商店街を舞台にした十日町高校・総合高校合同「冬の文化祭」にぜひ遊びに来てください。

【開催予定】「(仮称) 高校生まちなか冬の文化祭」

◎12月10日(月)〜14日(金)：店頭ディスプレイ作業期間

◎12月15日(土)〜20日(木)：ディスプレイコンテスト投票

◎12月22日(土)：発表会「パフォーマンス・作品展示・コンテスト結果発表」

催し・講座

「写真アルバム」

◆数千枚のオリジナル写真の中から600枚を厳選収録!

◆懐かしい街並みや建物、交通、祭り、学校など昭和の日常風景が満載

「ご予約は地元書店へ!!」

A4判・上製本・総頁280頁

収録写真約6000点

刊行記念特価9,990円

発売元：株式会社北越書館

発行元：株式会社いき出版

TEL:025-805-0025

http://www.ikishuppan.co.jp

6時30分

会 日本キリスト教団十日町教会(本町西1)

大人1,000円(当日1,200円) ※中学生以下無料

特別ゲスト 蘭燃

チケット取扱い 中央公民館・朝日堂・サウンドエス・イトー楽器・波輝・ハローホリデイ

問 田口 (☎090-1660-7171)

空き店舗活用グループ

グループリーダー衣料のかみしんの樋熊です。5月から運営してきた「にぎわいショップ」ですが、当初の計画通り11月18日で検証を終了しました。にぎわいショップは、まちなかににぎわいをつくるにはどうしたらいいかを考え、6か月間限定で始めた取組みですが、予想以上に多くの子どもたちに支持され、商店街における子どもたちの憩いの場として定着しました。また本町3丁目周辺では、「確実に人の流れが変わった」と実感しました。期間限定の取組みでしたが、「にぎわいをつくる」という観点からいけば、目に見える成果となりました。



にぎわいショップには子どもたちも取材に来てくれました

一方、チャレンジショップ(貸しブース)は、この期間に引き合いが少なかった状況からみても、十日町ではあまりニーズがないということも実感できました。言葉や頭で考えただけでなく、実際に行動したからこそ得られた貴重な経験やノウハウを今後の活動に生かしていきたいと思えます。今後、にぎわいショップの場所は来年3月まで貸しスペースとして、活用していきたいと考えています。詳しくは問い合わせてください。

にぎわいなう

Vol. 4

※にぎわいプロジェクトは十日町市の業務委託を受けて実施しています

「にぎわいプロジェクト」のこれまでの活動やこれから予定していることを皆さんに紹介します。

■ 問合せ：にぎわいプロジェクト事務局(商店街にぎわい研究所内 ☎761-7230)

イベント企画運営グループ

グループリーダーミジヨットの西野です。この秋は、にぎわいプロジェクトが企画した数々のイベントに多くの皆さんから足を運んでいただきました。10月27日のハロウィンパレードには約100人が参加。かわいいハロウィンの衣装や本格的なアニメのコスプレで商店街を歩く大行列はまさに圧巻でした。来年以降は市全体を巻き込んだイベントになればいいと、そんな可能性を感じました。



商店街のお店から、たくさんのお菓子をもらいました

情報発信グループ



引き続きこんなイベントをしてほしいという意見が多数ありました

グループリーダーモダン食堂KICHIの上村です。先日の「十葉町シフォンケーキ秋コレクション」でアンケートを実施し、188人から意見や感想をいただきました。前回のスイーツグランプリに引き続き、やはりスイーツを主としたイベントには関心が集まりやすく、今後の十日町のにぎわい創出には欠かせない要素ではないかと、アンケートからも感じました。今後は今回のアンケートも踏まえ、さらになぎわいを創出すべく、企画運営していきたいと思えます。情報発信グループでは、市街地の食の「地域ブランド」を新たに構築していくことを目指し、これまでなかったようなまちづくりを実施して全国に十日町を発信していきます。

8〜11月分の手当を振り込みます。手当額は手当証書で確認してください。

○24年度現況届を提出していない人は手当支給が停止されますのでご注意ください

○11月に認定を受けた人は、25年4月に12月分からの手当を支給します

12月11日は児童扶養手当の定期支給日です

持母子健康手帳・筆記用具
健康支援課母子保健係
☎757-9759

0-5010

子育て

離乳食教室

【離乳のはじめてコース】
日12月7日(金)
対3か月〜5か月児

【ステップアップコース】
日12月21日(金)
対7か月〜9か月児

●受付 午前9時45分〜10時
※直接会場へおいでください
会 十日町保健センター(市役所隣)

子どもなどを対象に上越国際スキー場・なかさと清津スキー場・松代ファミリースキー場・松之山温泉スキー場を利用してのシーズン共通リフト券を発行します。

市内の未就学児、小・中学生、高校生、市内に住所があり市外の中学・高校に在籍している人、十日町市ス

市内スキー場共通リフト券を発行します



スポーツ

園児、低・高学年の合同鑑賞会です。

日12月1日(土)午後7時開演
会 千手中央コミュニティセンター

●会費 1人月額700円※当日入会可
問 丸山 ☎090-2548-0570

子育て支援課子育て支援係 ☎757-3719

十日町おやこ劇場
「ムーラの一人サーカス」
むごん劇カンパニー

12月から平成25年2月までの日曜日は午前11時〜午後3時

十日町体力づくり支援センター
冬季期間施設一般開放
営業時間変更のお知らせ

12月の休館日

中央公民館 毎週月・23日(祝・29日)土・31日(月)

千手中央コミュニティセンター 毎週火・23日(祝・29日)土・31日(月)

情報館 3日(月)・10日(月)・17日(月)・25日(火)・29日(土)・31日(月)

博物館 3日(月)・10日(月)・17日(月)・27日(木)・31日(月)

松之山郷民俗資料館 休館

まつだいの郷土資料館 毎週

キー連合会に加盟している団体のアルペンスキー指導者、SAJまたはSIA登録者で市内小・中学生、高校生の指導者

¥1万5,000円
問 スポーツ振興課 ☎756-5013

ネージュスポーツクラブ
スポーツコーチング・栄養教室

日・内・対12月1日(土)▼栄養教室 午前10時〜11時30分(小学生以上対象)▼スポーツコーチング 午後1時〜2時30分(保護者・教職員・指導者対象) ※詳しくは問い合わせください
会 千手中央コミュニティセンター

くらし相談

11月の納税・納付

11月は固定資産税第4期、国民健康保険税第8期、後期高齢者医療保険料第8期及び介護保険料第8期の納付月です。期限(11月30日)内に納めましょう。

問 税務課・市民生活課・福祉課

市の営業となります。

休 祝日
問 十日町体力づくり支援センター ☎758-3343

くらし相談

市総合体育館 18日(火)・29日(土)土・31日(月)

川西総合体育館 12日(水)・26日(水)・29日(土)土・31日(月)

松代総合体育館 毎週月・29日(土)土・31日(月)

ひだまりプール 毎週火・26日(水)土・31日(月)

キヨロロ 毎週火・26日(水)土・31日(月)

【法律相談】
日 毎週(木)午後1時30分〜4時(27日を除く)

会 本庁相談室

問 市民生活課市民年金係 ☎757-3116へ予約

【行政相談】
【12月4日(火)】
午前10時〜正午

会 社協松代支所

【12月14日(金)】
午前10時〜正午

会 本庁相談室

【12月19日(水)】
午後1時30分〜3時

会 はあふる川西

問 市民生活課市民年金係 ☎757-3116

【すこやかランド】
日25日(火)午前10時〜11時
対 生後4か月〜1歳未満の乳児とその保護者
会・問 中央公民館 ☎757-5011

【なかよしランド】
日4日(火)・11日(火)・18日(火)午前10時〜11時
会 サンクロス十日町
対 1歳〜未就園児と保護者
問 中央公民館 ☎757-5011

【いっしょにあそび】
日6日(木)・13日(木)・20日(木)午前10時〜11時
対 未就園児と家族
会・問 水沢公民館 ☎758-3101

【すくすく教室】
日5日(水)・12日(水)・19日(水)・26日(水)午前9時30分〜11時30分
会 千手中央コミュニティセンター
対 未就園児と家族
¥800円(26日のみ)
問 春日 ☎090-4939-7967

【橋にこにこルーム】
日7日(金)・21日(金)午前9時30分〜11時30分
会 橋高齢者コミュニティセンター
対 未就園児と家族
問 子育て支援センターえくぼ ☎768-2352

12月のちびっこひろば

活動の内容は市報4月25日号6〜7ページをご覧ください。

【すこやかランド】
日25日(火)午前10時〜11時
対 生後4か月〜1歳未満の乳児とその保護者
会・問 中央公民館 ☎757-5011

【なかよしランド】
日4日(火)・11日(火)・18日(火)午前10時〜11時
会 サンクロス十日町
対 1歳〜未就園児と保護者
問 中央公民館 ☎757-5011

【いっしょにあそび】
日6日(木)・13日(木)・20日(木)午前10時〜11時
対 未就園児と家族
会・問 水沢公民館 ☎758-3101

【すくすく教室】
日5日(水)・12日(水)・19日(水)・26日(水)午前9時30分〜11時30分
会 千手中央コミュニティセンター
対 未就園児と家族
¥800円(26日のみ)
問 春日 ☎090-4939-7967

【橋にこにこルーム】
日7日(金)・21日(金)午前9時30分〜11時30分
会 橋高齢者コミュニティセンター
対 未就園児と家族
問 子育て支援センターえくぼ ☎768-2352

【おはなしてんこもり】
日8日(土)午前10時30分〜11時30分
他 絵本の貸し出しあり
会・問 加賀書院 ☎752-2114

「わくわくキッズ(キッズ英語&エクササイズ)」
日6日(木)・20日(木)午前10時45分〜11時45分
会 中央公民館
¥2回無料※3回目から200円
持替え、飲み物
「おやこde cafe」
日1日(土)午前10時〜11時45分
会 中央公民館
問 丸山 ☎090-2548-0507

【ぐりぐらルーム】
日8日(土)午前10時〜11時
会 下条公民館
対 乳幼児〜小学生
問 水落 ☎756-2254

【おはなしの会「ふきのとう」】
日15日(土)午前10時〜11時
対 乳幼児〜小学3年生くらい
会・問 千手中央コミュニティセンター ☎768-2308

【おはなしひろば】
「クリスマス」
日15日(土)午前10時〜11時
会・問 中里総合センター

【読み聞かせの会「どんぐり」】
日15日(土)午後2時〜3時
対 幼児〜小学3年生
会・問 情報館 ☎750-5100

【おはなしびよびよ】
日1日(土)・8日(土)・22日(土)午前10時30分〜11時
対 乳幼児
会・問 情報館 ☎750-5100

【おはなし「たまたまご」】
日13日(木)午前10時〜11時
対 乳幼児とその保護者
会・問 情報館 ☎750-5100

【アドベンチャースクール】
キッズ健康教室「みんなで健康クッキング」
日15日(土)
問 中央公民館 ☎757-5011

【ボーイスカウト】
「歳末助け合い慈善鍋運動」
日23日(祝)
対 小学1〜5年生
※1・2年生は親子で参加
問 根津 ☎757-5077

【託児付きエアロビクスサークル】
日6日(木)・13日(木)・20日(木)午前10時15分〜11時30分
会 サンクロス十日町
問 関口 ☎090-1656-0200

情報館 12月のテーマ図書

「錦心 繡口」

『子規の宇宙』『声に出して読みたい日本語』など、美しい言葉にふれることのできる本を紹介します。
「2012年、煌めいた本」
 『図解東京スカイツリーの秘密』『オスプレイとは何か』など、今年話題になった出来事に関する本を紹介します。

「おふろにはいろ」

『おふろだいすき』『いろいろおんせん』など、寒い季節に温まるお風呂の本を紹介します。
「世界をめぐる 一北アメリカ編一」
 『グースにあった日』『ステラもりへいく』など、アメリカとカナダのお話の本を紹介します。

※テーマは一部変更したり追加したりする場合があります
 情報館 ☎750-5100

数のグループに分かれて、斬新で柔軟な施策を考案する取り組みです。各グループが考案した施策は、市長を含めた審査会での評価で優れた施策と判断された場合は、新しい事業として実施されます。
 本年度は、政策提案プレゼンテーションを公開し、来場者の皆さんからも優れた施策に投票してもらいます。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

12月4日(火)午後7時～9時
「人権週間」です
 人権擁護委員協議会と法務局では期間中、特設人権相談会クロスステーション
「検討テーマ」①発掘！発信！とおかまち②選ばれて住み継がれる十日町市の実現
 企画政策課企画政策係 ☎757-3193

- 【人権相談】
12月4日(火)
午前10時～正午
☎社協松代支所
- 【12月5日(水)】
午前10時～正午
☎千手中央コミュニティセンター
- ☎市民生活課市民年金係 ☎757-3116
- 【定例年金相談】
12月13日(木)・27日(木)午前10時～正午、午後1時～3時
☎クロスステーション
- ☎市民生活課市民年金係 ☎757-3748
- 【ジヨブカフェ】
12月14日(金)午前10時～午後3時※要予約
☎本町分庁舎
- ☎おおむね30代半ばまで
☎若者のための仕事相談
☎ジヨブカフェながおか ☎0258-38-6181
- 【多重債務相談】
解決策があるはずですよ。まずは相談してみませんか。
12月12日(水)午後1時30分～4時30分※要予約
☎本庁相談室
☎借金トラブル

- ☎市消費生活相談窓口 ☎757-3740
- 【消費生活相談電話】
12月(祝日・年末年始を除く)4時(祝日・年末年始を除く)対買物や契約で困っている人
☎相談 ☎757-3740
- 【教育相談(青少年)】
12月(金曜日)午前9時～午後5時(年末年始を除く)※土・日曜日、祝日は要予約
☎教育センター(川西庁舎内) ※電話相談 ☎756-5010 や訪問も行っていきます
- 【女性相談専用電話】
12月(金曜日)午前8時30分～午後5時15分(祝日、年末年始を除く)
☎相談 ☎757-3701 (企画政策課協働推進係内)
- 【心配ごと相談】
☎社会福祉協議会本所
☎毎週(水)午後1時30分～4時
☎社会福祉協議会中里支所
12月21日(金)午後1時30分～4時
☎他川西・松代・松之山は随時受け付けています
☎社会福祉協議会 ☎750-5010

認定外道路除雪事業補助金のご案内

市道認定されていない道路「認定外道路」でも、幅員2m以上あり、平場は人家5戸以上、中間地は4戸以上、山間地は3戸以上の道路除雪に対して補助を行います。詳細は問い合わせください。
 ☎建設課維持係 ☎757-9932

証明書自動交付機の利用停止のお知らせ

町界町名整理事業による住所変更に対応するため、市役所本庁舎に設置の自動交付機が利用できません。ご理解とご協力をお願いします。
 ●期間 12月1日(土)・2日(日)
 ☎市民生活課市民年金係 ☎757-3116

職員知恵出し会議の政策提案プレゼンテーションを一般公開します

職員知恵出し会議とは、重要度・緊急度・優先度の高い政策課題について、検討テーマを設定し、若手市職員が複

十日町地区合同就職面接会・介護就職面接会

一般の求職者、平成25年3月に学校を卒業予定の大学・専門学校・高校生を対象とした合同就職面接会・介護就職面接会を開催します(事前予約不要。当日履歴書を持参してください)。参加企業は順次ホームページで公開します。「新潟ワークナビ 十日町」で検索してください。
 12月12日(水)午後1時～4時
 ☎クロスステーション
 ☎ハローワーク十日町 ☎757-2407

十日町市文化協会連合会文化賞

第18回十日町市文化協会連合会(会長…後藤和夫さん)の文化祭が11月3日(文化の日)に開かれ、地域の芸術・文化振興に貢献した4人が表彰されました。(敬称略)

■表彰状

○榎澤英男(寿町2)

十日町市文化協会連合会設立に寄与し、会長などの重責を歴任し、会の運営及び発展に貢献

■賞状

○宮澤礼子(伊達)

長年全国の各種書道展に入賞し、今年の毎日書道展に入賞、併せて会員に推挙された功績

○清水好和(津南町田中)

長年県展・市展等の洋画部門に入賞し、十日町市芸術協会役員として地域の芸術文化の振興に貢献

○市村久子(本町6-3)

長年県展・市展等の工芸部門に入賞し、伝統工芸士として地域の芸術文化の振興に貢献

写真左から、宮澤礼子さん、榎澤英男さん、関口市長、後藤会長、清水好和さん、市村久子さん



☎十日町市文化協会連合会事務局(生涯学習課内) ☎757-8918

緑のカーテンコンテスト入賞者

10月28日(日)に開催された環境フェアで、平成24年度十日町市緑のカーテンコンテストの入賞者表彰式が行われました。入賞作品は市ホームページでもご覧いただけます。(敬称略)

【個人の部】

◎最優秀賞

樋口 雅春 (宮下町西) 「あさがお」

◎優秀賞

栗林 洋一 (中条新田) 「あさがお」

太田 祐子 (川治内後) 「あさがお」

◎優良賞
池田 岩夫 (田野倉) 「あさがお」



◎優秀賞

十日町地域振興局 「あさがお、ゴーヤ」

株丸山工務所 「あさがお、ゴーヤ」

◎優良賞

ミオニいきものがかり 「あさがお、ゴーヤ他」

上野小学校 「ゴーヤ」

むつみ幼稚園・保育園 「ゴーヤ」

☎環境衛生課 ☎752-3924

きらめき 青春 44

下条中学校 若葉班活動

15年ほど前から異学年交流を目的に下条小学校で行われてきた縦割り班活動「若葉班活動」。小中一貫教育のモデル中学校区の指定を受け、昨年度からは小学1年生～中学3年生に拡大した「若葉班活動」を始めました。小・中学校の全校生徒277人が16班に分かれ、各班で活動内容を相談。スポンジケーキ作りなどの「調理」や紙ブーメラン製作などの「工作」に年2回取り組みます。



活動事前打ち合わせの様子

榎能晃太・小杉理奈リーダー——活動内容は5月にリーダー会議を開催して班ごとに決めました。各班のリーダーの指示のもと、上級生が下級生の面倒をみながら活動に取り組みます。学年を越えた活動ではお互いに遠慮し合う雰囲気があるので、中学生が小学生にやさしく声を掛けることが大切だと思いました。

中町初美先生——若葉班活動は、異学年交流をとおして、小学生には中学生と触れ合うことで見通しを持った中学校生活を送れるようにすること、また中学生には下級生に配慮して行動できるようにすることを目指しています。活動をとおして気軽に声を掛け合える仲間になり、将来を担う地域の一員として幅広い仲間作りをしてほしいと思います。

国際交流員 ワン・ユウの王ダフル・チャイナ 11

日中漢字の違い

中国語と日本語は漢字を使うので、お互いに言葉が通じなくても漢字で何となく意味が分かると思います。しかし同じ漢字でも意味が全く異なることもあります。

この前、市内でもSLが走りまわりましたが、皆さんが使う言葉に「汽車」(チキヤ)があります。中国では車・バスという意味になります。逆に、列車は中国語の俗語で「火車」、SLは「蒸気火車」と書きます。火の車は日本では家計が苦しいことを意味するようですが、ちなみに、中国人が普通に利用しているのは中国版新幹線「動車」か高速鉄道の「高铁」です。

日本の女性は老婆と呼ばれると怒ると思いますが、「老婆」は中国での男性が妻に対する親しい呼び方です。そのほか、日本語の姑は中国語で「婆婆」と書きます。逆に、「姑」という漢字は中国語でおばさんという意味になります。日本語の「中古」は中国人には

分らないでしよう。中国語では「二手」と書きます。日本でおなじみの「麻雀」も中国語では単なるスズメの意味しかありません。中国では「麻將」と書きます。

十日町は雪まつりが有名ですが、「祭」は中国語ではイベントなどの意味には使われず、一般的に神や先祖をまつる意味のみに使われています。また、雪といえば、雪下人參も十日町で有名ですが、中国で「人參」といったら、あ的高级薬用の植物しか思い浮かばないです。日本語の人參は中国語で「胡萝ト」と書きます。

このように言葉の違いが分かる、言葉のおもしろさも感じられ、お互いに理解が深まりますね。



モーターショーにある宣伝ステーションの一部。「汽车」の漢字が見えます

■問合せ：企画政策課秘書広報係
☎757-3112

市民活動紹介通信 ⑧

わらべっこ

自然、食、習慣、人のつながりを大切にしながら子育てしたい

子育て真っ最中の俵山昇子さん(二ツ屋・34歳)と服部昌子さん(本町1・34歳)で立ち上げた「わらべっこ」。子育てに奮闘している人たちが楽しんだり、話をしたりする場を作りたいと感じていたところ、ひとサポメンバーの「やってごらんよ」という後押しがきっかけで始めました。

気づきが大切だと感じました」と話すのは俵山さん。また、服部さんは、「幅広い世代や地域でのつながりはとても大切。親以外の誰かがしかつてくれたり、ほめてくれたりすることで子どもは大きく成長すると思います」と話します。「当面は、月1回のお茶会を開催して、人がつながる場を作っていききたい」と意気込む活動は、まだ始まったばかり。今後は、野菜の収穫体験やそれを使った料理、冬のもちつきや雪あそびなどの自然や季節を感じる遊びなどを計画中です。そんな「わらべっこ」とつながって、子育ての輪を広げたいませんか。

*ブログ <http://warabekko.blog.fc2.com/>

活動を紹介したい団体を募集しています。左記まで連絡してください。

市民活動ネットワークひとサポ
☎080-3522-2310



次回のお茶会の打ち合わせをする俵山さん(写真左)と服部さん(写真右)の様子

キヨロ口発 十日町市 「だいでんがみつけ」

不思議な暮らし方

フユノハナワラビ(トコワラビ) 紅葉も終わりを迎え、多くの植物が枯れ始める中、突如として姿を見せる植物がいます。妻有地方では「トコワラビ」という呼び名で親しまれているフユノハナワラビです。この呼び名は、冬に床の間などに飾ることに由来します。家の外は真っ白な雪景色でも、この植物は青々とした緑色を家の中にもたらしてくれます。また、子孫を残す胞子をつけた胞子葉を、葉の間からすつと伸ばす姿は、まるで花のように美しく、人を惹きつける魅力を持った植物です。

フユノハナワラビの暮らし方は他の植物と大きく異なり、秋に葉を一枚広げ、冬の間はその葉で光合成を行い、春になると葉を落とします。日照時間の少ない冬は植物にとって生育しにくい季節ですが、競争相手が少ないことを逆手にとって冬の間だけ地上に現れ、変わった生活史をもっています。



フユノハナワラビ

す。この植物が冬の観賞用として楽しまれる背景として、季節の変化に伴った植物の反応を、人々が生活の中で正確に捉えていたことを感じます。

他にもフユノハナワラビには珍しい生態があり、胞子が発芽してできる前葉体は地中に存在し、葉緑体を持たずに、菌類と共生することで養分を得ています。このため、系統上は他のシダ類とかけ離れていて、原始的なシダ植物の生き残りと考えられています。

植物が少なくなる冬にも、こんな変り者のシダが生育しているの、探してみてください。

■問合せ：「森の学校」キヨロ口
☎595-8311

我が家の

イクメン☆カジダン

我が家の

パパ…丸山大悟さん (28歳・木落)



パパは進んで家事をしてくれます。子どもをいろんなところに連れて行ってくれ、みんなパパが大好きです。本当に助かっています。ありがとう (ママより)



我が家の

パパ…高橋一弘さん (37歳・三領)

家事に育児、なんでも手伝ってくれるお父さん。次女の夜泣きにも付き合ってくれます。子どもたちもそんなお父さんが大好き。いつもありがとう (妻より)

事業所 情報紙 ほとおかまち みたろぐ スポット 8

十日町の働く現場を紹介します
■問合せ：産業政策課 ☎757-3139

～大手企業のスキマを狙った独自サービスを開発～



平成12年、コンピュータソフトウェアの受託開発を中心に創業しました。

大手企業からの受託やホームページ制作などを手掛け、平成22年には自社ブランドとしてのネットワークカメラシステムなどを開発し、この10月には新しい「遠隔モニターシステム」の販売を開始しました。これは、離れた場所の映像をインターネット経由で見ることができて、カメラの電源さえあればケーブル不要で簡単に取り付けることができます。エレベーターや駐車場、資材置場の防犯カメラとして導入されており、十日町市でも工事現場や信濃川の監視などに活用されています。

り使用頻度が増えてきたアプリの開発も行っていて、お客様のニーズに合わせたカスタマイズも請けています。

また、会社では十日町ビジネス活性化交流会の代表もしていて、市内の若手経営者が隔月で集まり、企業紹介や情報交換をしていますので、興味のある人はぜひ参加してください。



有限会社 ロジックベース
 代表者：代表取締役 樋口 昭夫
 所在地：十日町市山野田268番地2
 連絡先：☎761-7511
 従業員数：2人
 事業内容：ITサービス、ホームページ、アプリの作成など

そのほかには、スマートフォンなどの普及によ

ほとおかまち 観光ドット混む情報 .com

まだまだ続く 晩秋の里山アート

熱い盛り上がりを見せた第5回大地の芸術祭が終わり、少し静けさを取り戻したまつだい「農舞台」。12月24日まで「米」にちなんだユニークなアート作品を展示しています。



農舞台の外では、地元の皆さんやこへび隊がまつだい棚田バンクの4反歩分のわらを生かして作り上げた「わらアートin越後妻有」、農舞台ギャラリーでは山根秀信さんによる個展を開催しています。

- 【まつだい農舞台ギャラリー 秋の企画展】
 里山の限界芸術 / vol. 1
 山根秀信「風景」展「お米で表現する現代の風景」
 ■会期：12月24日(月)まで※水曜日休館
 ■開館時間：午前10時～午後5時 (入館は4時30分まで)
 ■入場料：大人500円、小・中学生300円、共通券 (まつだい郷土資料館) 600円
 ■問合せ：大地の芸術祭の里総合案内所 ☎595-6688
-

昭和の十日町 No.44

～山内写真館の世界～
赤ちゃん大会

- 撮影時期：昭和20年代
- 撮影場所：昭和町3丁目 水月庵本堂

母親ばかりでなく、家庭や地域での育児に対する関心を高めるため、健康優良児を表彰する「赤ちゃん大会」が始まりました。会場は、戦後間もなくお寺を借りて開館した公民館です。母親も赤ちゃんも晴れ着を着て、勢揃いしています。

●問合せ：博物館 ☎757-5531



あすのたわ

▼市内の平野部にも初雪の便りが届き、いよいよ本格的な冬が到来します。皆さんの冬といえは何でしょう？私の冬といえはやはりリスキーです。実は、クロスカントリースキーと縁がありまして、以前から地元小学生のコーチをさせて頂いておりましたが、近年は指導と称した「ダイエット」にも取り組んでいます(笑)。さすがプロゴルファーが目を付けるスポーツだけあって、冬場の運動不足解消には最適です。1月には吉田クロスカントリー競技場で全日本大会が開催され、ソチオリンピックを目指す地元出身選手も大勢出場します。皆さんぜひ応援においでください！



▼ボジョレー・ヌーボーが解禁になりました。ワインをよく飲むわけでも毎年欠かさず飲むわけでもないですが、この時期になるとやはり気になります。このワインは、出来栄についてマスコミなどに「近年ない出来」や「〇年に1度の当たり年」などと毎年言われています。いつも「結局何年のワインが一番いいのかよくわからないなあ」なんて考えていましたが、今年の評価は「史上最悪」。今までにない表現です。飲む機会がなければ飲まなくてもいいという考えでしたが、今年は飲んでみようと思います。

新車の販売商法に乗せられただけでしょか。



連載コーナー

連載コーナー

叙勲おめでとうございます ございます



旭日双光章
(地方自治功労)

大島 清松さん (丸山町・70歳)

通算5期20年にわたり市議会議員として活躍。要職を歴任し十日町市の発展に多大な貢献を果たしました。大島さんは、「議員を退いて13年。現在はさまざまな組織の役員をしています。あと5年は地域に恩返ししたい」と話しました。



瑞宝双光章
(消防功労)

平野 啓介さん (水口沢・71歳)

長年にわたり消防の危険業務に従事した功績が認められました。平野さんは、「職場の先輩、後輩から指導を受け、ともに活動できたおかげです。また家族にも深く感謝しています」と話していました。



瑞宝単光章
(統計功労)

栗林 謙一さん (北鏡坂・70歳)

市統計調査員となった昭和46年以降、統計行政に尽力されました。栗林さんは、「協力いただいた皆さんや、先輩、同僚、そして家族あつての受章。個人でいただいたものではないと思っています」と感謝の気持ちを語りました。

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、企画政策課秘書広報係 (☎757-3112) へ気軽にお寄せください。

松之山 産業・文化の祭典で秋を満喫!!

10月28日(日)：自然休養村センターほか (松之山)

松之山地域の秋を飾る産業祭・芸能祭・美術展。家族連れや観光客などが秋の味覚や芸能・文化を満喫しました。産業祭のオープニングを飾った「鼓夢の会」による力強い太鼓演奏に、会場は盛り上がりました。



川西 絆を深めた大縁会

10月27日(土)：上野保育園前の新設道路

第3回「上野の食卓大縁会」が秋晴れの中、開催されました。約400人が、家庭の「こつこつ」や川西商工会提供の豚汁に舌鼓を打ち、子どもたちの踊りに拍手し、地震以降培われた絆を深めました。この催しはこれからも開催されます。
(☎押木敦子さん)

☎=市民リポーター
市民リポーターによる市民目線でのレポートです。市民リポーターはいつでも募集していますので、興味のある人は問い合わせください。

川西 今年も大繁盛でした！白倉自慢会

11月3日 (文化の日)：キャンパス白倉

毎年開催の白倉自慢会も今年で25回目を迎え、名物の野菜市は、関東からワゴン車いっぱい野菜を買い付けに来る人もいほどの人気イベントになっています。開店と同時にたくさんのお客さんで埋め尽くされ、会場は熱気で満たされました。



中里

みんなでわーはっはっ！

11月17日(土)：中里総合センター
中里総合クラブYOGA主催の十日町初の「笑いヨガ体験会」が行われました。「笑いの体操」と「ヨガの呼吸法」を組み合わせた笑いヨガに、参加者の皆さんは、「誰かと目と目を合わせて笑えたのがよかった」「明日はおなかの筋肉痛かしら」と効果を実感したようでした。YOGAでは来年1月から定期講座を計画中です。

松代 3年間お疲れ様でした！

10月28日(日)：峠体験交流施設

奴奈川地区で地域おこし協力隊として活動してきた宮原大樹さんが、10月末日で3年間の任期を終えました。3年間の任期を終える協力隊員は、市内では宮原さんが初。宮原さんは、11月から奴奈川地区内の企業に就職し、同地区内に定住しています。



市内 本番さながらの訓練

10月28日(日)：南中学校



地震、豪雨、豪雪など、数々の災害で得た教訓を生かし、防災意識を高めるため行われた市の総合防災訓練。地元の自主防災組織や町内会、関係機関などから約400人が参加し、震度6強の地震を想定して、防災ヘリコプターやはしご車の高所救助訓練など、さまざまな訓練を実施しました。



熱中 この時 夢中 56

studio * H5 (スタジオエチゴ)

デザインの力で社会をより良く

少子高齢化や生活文化の衰退など、社会的な課題をデザインの力で解決し、より良い社会づくりをする活動を始めた「studio * H5」。課題に対し、新しい視点や価値を創出することで解決する「ソーシャルデザイン」を通じて、子どもたちに夢ある未来を引き継ぐことを目指します。

● 問合せ 阿部正義さん

☎ 757-2181



建築士会中魚沼支部青年委員会の仲間で構成されたメンバー5人。活動を模索しているなか、ソーシャルデザインに出会い、取組みを決意しました。「H5」には“越後”という意味と“はじめの5人”という意味が込められています。



中心市街地活性化の一環として、「まちなかフィールドワーク・まちスキャン」を実施。まちを歩き、まちなかの歴史やまち並みの特徴を説明するメンバー。

まち歩きの後には、課題や特徴、可能性のあるまちづくりについてワークショップ形式で意見を出し合いました。H5の皆さんが、場の雰囲気をつくり、参加者の意見を引き出すファシリテータ役を担いました。12月15日に2回目のワークショップを行い、まちづくりへの提案をまとめます。



「あるテレビ番組に山崎亮さん(コミュニティデザイナー・株studio-J代表)が出演していて、建物のようなハード面ではなく社会の仕組みをつくるソフト面でまちづくりをしていることに衝撃を受けました。私たちがすべきことはこれではないかという思いが生まれました」と話すのは、メンバーの一人である阿部正義さん(上原・47歳)。同じ志を持つ建築士の仲間と「studio * H5」を結成し、まちづくりへの活動が始まりました。

はじめの活動として、きっかけとなった山崎亮さんの講演会を今年の4月に開催。会場に溢れんばかりのお客さんが受講し、大きな反響とともに、活動への確信となりました。そして11月には、思いをカタチにするため、中心市街地の活性化を考えるワークショップを企画調整することに。長岡造形大学の学生を招き、中心市街地の課題からまちづくりへの提案を創り出します。

「まちづくりは、そこに住んでいる人が元気になることが大切。その土地ならではの人と人との関わりやつながりのなかで、課題があるし、解決方法がある。それをそこに住んでいる人が見つけ出すお手伝いができたら」と阿部さん。これからの活動にますます力が入ります。

